

ザッツ・エンターテインメント

That's Entertainment

観賞日 2018・11・26

制作 1974年 米

監督 ジャック・ヘイリー・JR

出演 ジーン・ケリー、フレッド・アステア

ジュディ・ガーランド、ビング・クロスビー

上映時間 135分



【あらすじ】

MGM 創立 50 周年記念作品。名作ミュージカル映画の名シーンを編集。

ハリウッドスターが語るミュージカル映画の歴史。

ミュージカル映画ファンにはこたえられない作品。

【解説】

■ミュージカル映画の歴史

・黎明期（1930年代）

世界恐慌後、ブロードウェイのスター（フレッド・アステア、ジンジャー・ロジャース他）やスタッフが不況のニューヨークからハリウッドに移転。

ハリウッドは無声映画からトーキーへの移行期で使えるスターが不足。

トーキーと音楽の融合。

代表作：「オズの魔法使い」（1939年）

・最盛期（1940年～1955年）

MGM社を中心に名作ミュージカルが続々誕生した全盛時代。ミュージカルスターの輩出。

代表作：「雨に唄えば」（1952年）

・大作主義の時代（1950年代後半～1960年代）

スターの個人技からストーリー性重視。

ブロードウェイの名作ミュージカルの映画化。大作主義＝寡作化。

代表作：「サウンド・オブ・ミュージック」（1965年）

・退潮期（1970年～90年代）多様化の時代

映画産業自体のパワーダウン。大作の失敗等による退潮。

若者文化との結合：「サタデー・ナイト・フィーバー」（1977年）

ディズニーとの連携：「美女と野獣」（1991年）

・復権期（21世紀）

ミュージカル映画に対する根強い人気。

「シカゴ」（2002年）：34年ぶりのアカデミー作品賞受賞

「ラ・ラ・ランド」（2016年）：アカデミー各賞を総なめ

■見どころ

・貴重な映像：唄って踊るクラーク・ゲーブル

・エスター・ウィリアムズの水上演

